

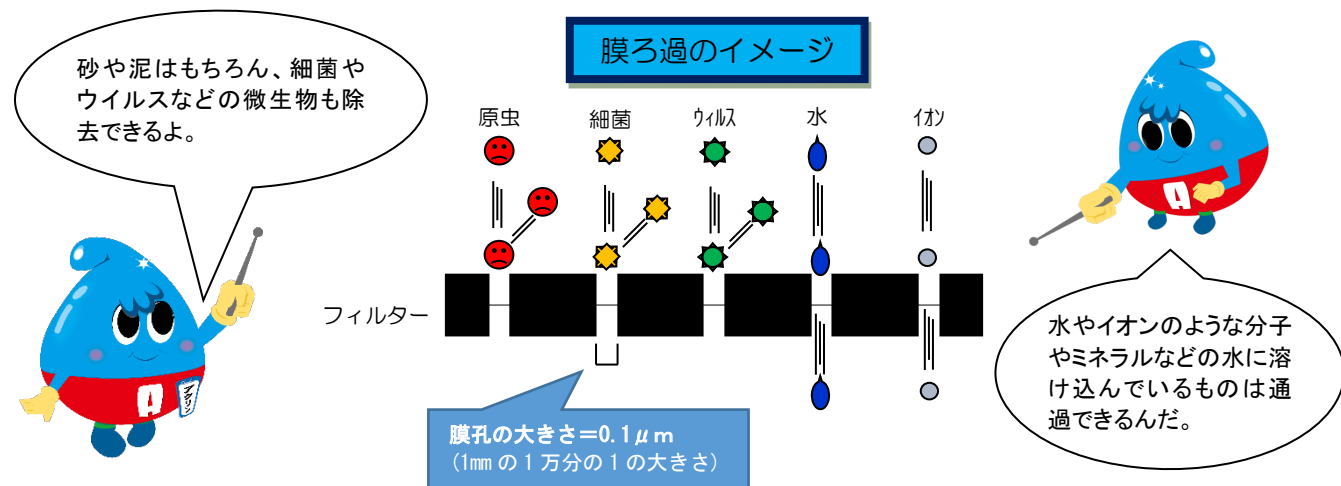
枚方市の浄水場が新しく生まれ変わります

枚方市の水道水のほとんど（約 85%）は中宮浄水場でつくられていることを、皆さんはご存じでしょうか？
中宮浄水場は、市民生活を支え、市の水道の根幹を担う施設として昭和 40 年の供用開始から長らく水道水をつくり続けてきましたが、老朽化が進み、これからも安全・安心な水道水を安定的に皆さんへ送り続けるため、膜ろ過方式※による浄水場へと新しく生まれ変わります。

新しい中宮浄水場は、令和 5 年から工事に着手し、令和 9 年 4 月の運用開始をめざし取り組みを進めます。
なお、事業の進捗等につきましては、ホームページや広報等でお知らせします。



※膜ろ過方式とは、無数の細かな孔が空いた多孔質フィルターに原水（淀川から引いてきた水）を通すことで、フィルターの孔よりも大きい物質はフィルターに留まり、孔より小さいもののみ通過させる方式です。例えば、コーヒーを入れる際のフィルターのようなもので、コーヒーの出がらしがフィルターに残り、コーヒーと分離される仕組みと同じです。（下図参照）



★市民の皆さんと上下水道局をつなぐ水のお便り

Water通信

第10号
令和4年3月

発行 枚方市上下水道局 〒573-1030 大阪府枚方市中宮北町20番3号 TEL 072-848-4199（代） FAX 072-848-8255

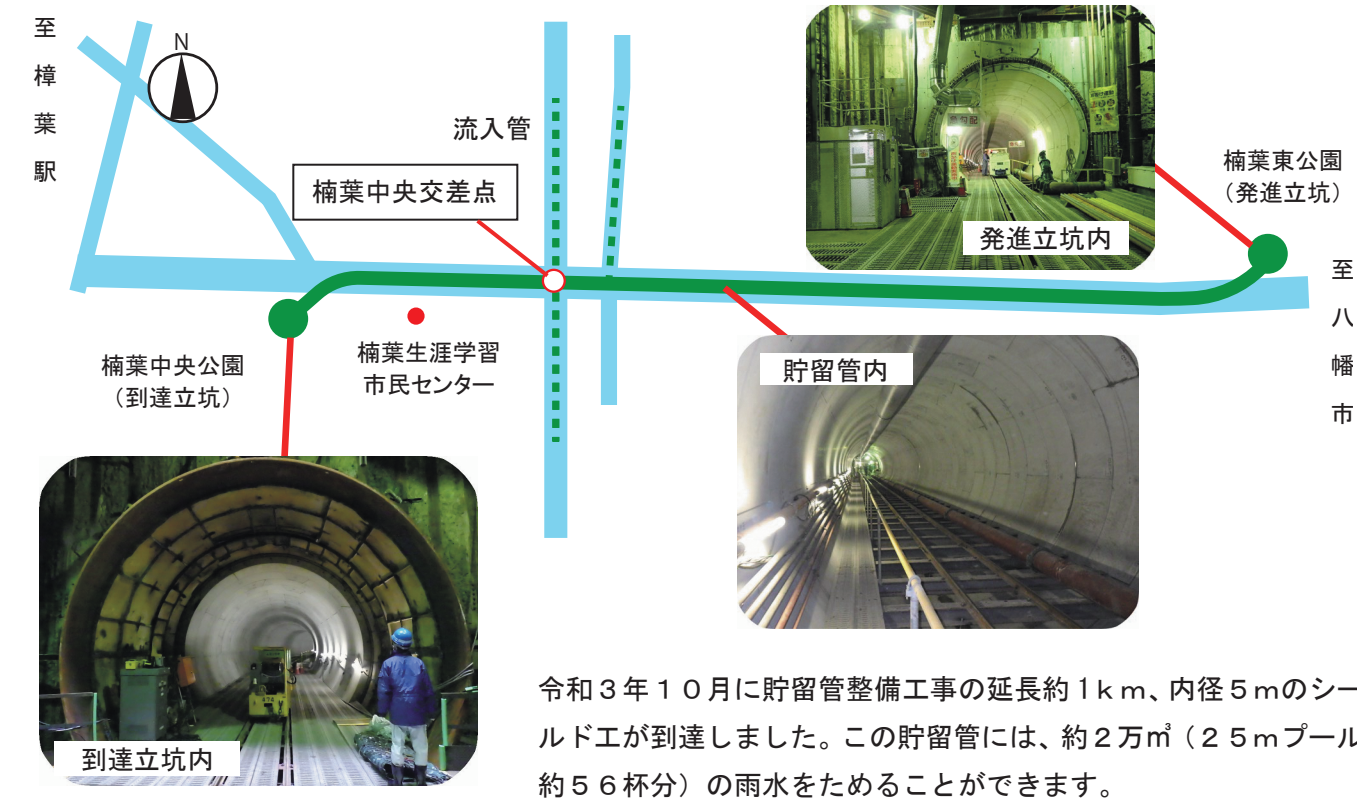
「Water 通信」は、上下水道局が取り組んでいる“水”に関する情報を広くご紹介するための情報誌です。

「Water 通信」第10号では楠葉地区における浸水対策の取り組み、「枚方市水道ビジョン2022」「枚方市下水道ビジョン2022」の策定、中宮浄水場更新事業についてご紹介します。

大雨からまちを守る 下水道浸水被害軽減総合事業（楠葉排水区）を推進

平成 24 年 8 月 14 日、楠葉地区において時間最大雨量 90.0mm（楠葉消防出張所）の集中豪雨を記録し、家屋の浸水や道路冠水の被害が多数発生しました。

楠葉地区では過去にも度重なる浸水被害が発生しており、このような背景から、浸水被害を軽減するために「下水道浸水被害軽減総合事業（楠葉排水区）」に取り組んでいます。



平成 2 9 年度より取り組んできた雨水貯留管に関連する全ての工事が完了する事で、これまで道路上にあふれていた雨水を貯留する事が可能になり、浸水被害の軽減を図る事ができます。
引き続き、全体事業完了に向け、安全第一に工事を進めていきます。

未来へと持続可能な水道・下水道をめざし

枚方市水道ビジョン2022・枚方市下水道ビジョン2022を策定

人口減少などによる給水収益・下水道使用料の減少、施設・管路の老朽化による改築・更新需要の増大、適正な維持管理・修繕、大地震等の自然災害への対応などの課題に対応するため、持続可能な水道事業・下水道事業をめざし、基本理念、理想像、取り組みの方向性を示す「枚方市水道ビジョン2022」と「枚方市下水道ビジョン2022」を策定しました。



枚方市の人口は今後も減少が見込まれており、料金収入が減少する一方で、耐震化や老朽化対策を実施していく必要があります。水道管や下水管が破損すると、断水や水濁り、道路陥没事故など市民生活に大きな影響を及ぼしてしまいます。

未来へと持続可能な水道・下水道をめざし、ビジョンに示した取り組みの方向性に沿った各種計画やその他施策を推進することにより、それぞれの理想像を実現します。



枚方市のライフラインを守るために頑張ります！

「水道ビジョン2022」「下水道ビジョン2022」の詳細内容はホームページでもご覧いただけます。

